

土岐市新庁舎



1 土岐市の庁舎が新たに生まれ変わります



北側から望む新庁舎全景

「低層3階建の庁舎」

- ・東西に流れる景観軸に沿い、土岐の街に馴染む低層3階建ての伸びやかな形態の庁舎とします
- ・背後の山並みの稜線を切らない山に抱かれた風景と水平ラインと奥行きのある深い陰影のある構成とします

「藁屋根*1の庁舎」

- ・簡素で穏やかな藁の屋根のある庁舎として、土岐市の文化を表現します
- ・土岐市にゆかりのあるやきもの素材を用いた、地域の英智を結集した庁舎とします

「土岐フォーラムを囲む開かれた庁舎」

- ・祝祭空間、防災広場、駐車場として機能する多目的広場「土岐フォーラム」を設けます
- ・「土岐フォーラム」を囲み、市民、行政、議会が一体になれる開かれた庁舎をめざします

「文化プラザを活かした交流庁舎」

- ・新庁舎と文化プラザを屋根のある回廊で結び、一体的に利用できます
- ・一体的利用による新庁舎の機能向上と市民の交流の場、活動の場となる庁舎とします

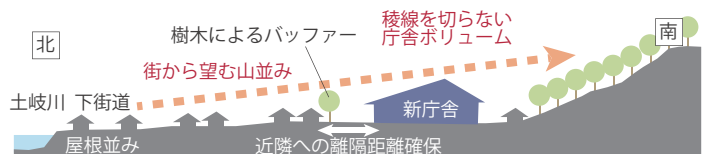
「永きにわたり親しまれる庁舎」

- ・庁舎の機能が担うべき役割が時代とともに変わっていくことを柔軟に受け止められる庁舎とします
- ・行政サービスの向上だけでなく、永きにわたって日常生活の一部として浸透していく多様な場をつくります

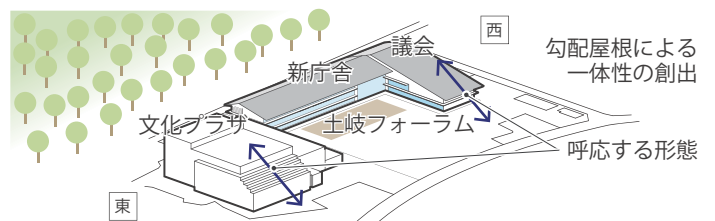
*1：瓦葺の切妻屋根



【東西に流れる地域の景観軸】



【南北方向の庁舎ボリュームイメージ】



【土岐フォーラムを囲む施設構成イメージ】

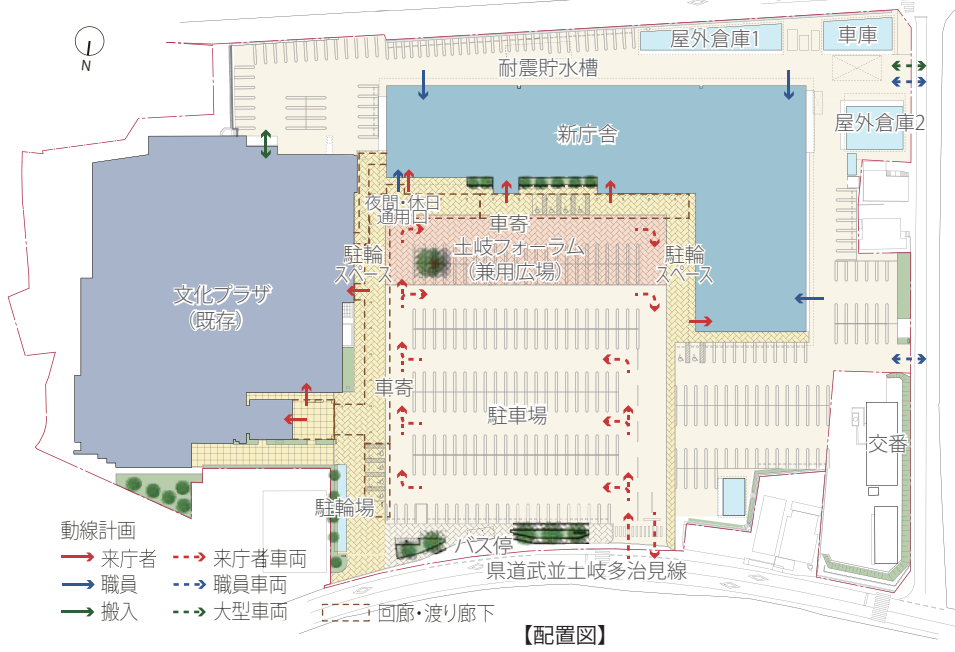
	新庁舎	付属建屋	文化プラザ	合計
建築面積(m ²)	4,274.62	1,191.69	4,620.93	10,087.24
延床面積(m ²)	9,703.89	781.84	8,333.90	18,819.63
構造	RC造 (一部S造, PRC造)	S造	RC造	
階数	3F	平屋(一部2F)	4F(B1F)	

【施設概要】

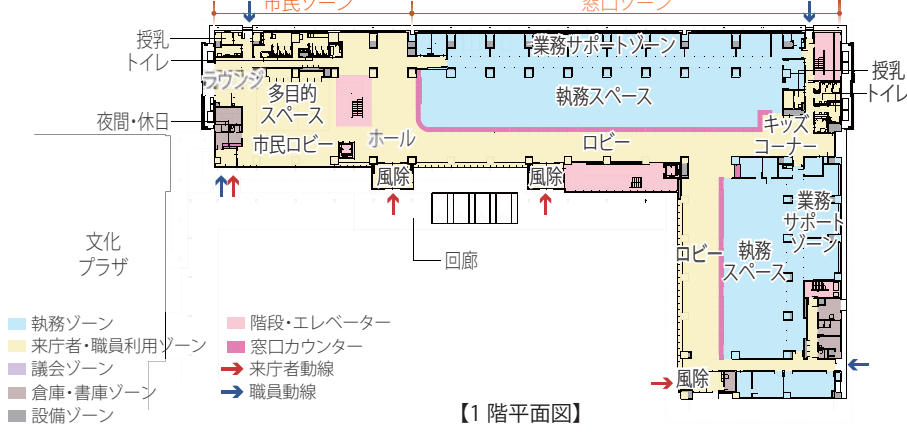
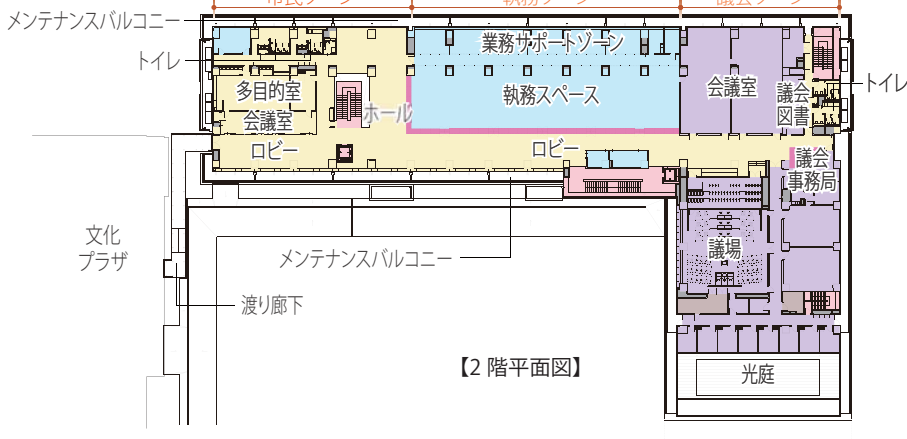
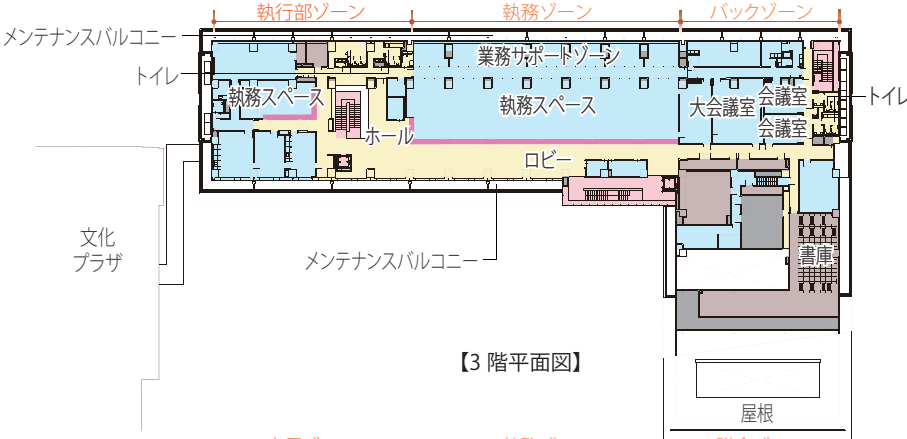


【下街道の陰影のある町並み】 【土岐川に沿って広がる藁の風景】 【敷地南側の山並みの稜線】

2 文化プラザと一体的に活用できる配置計画



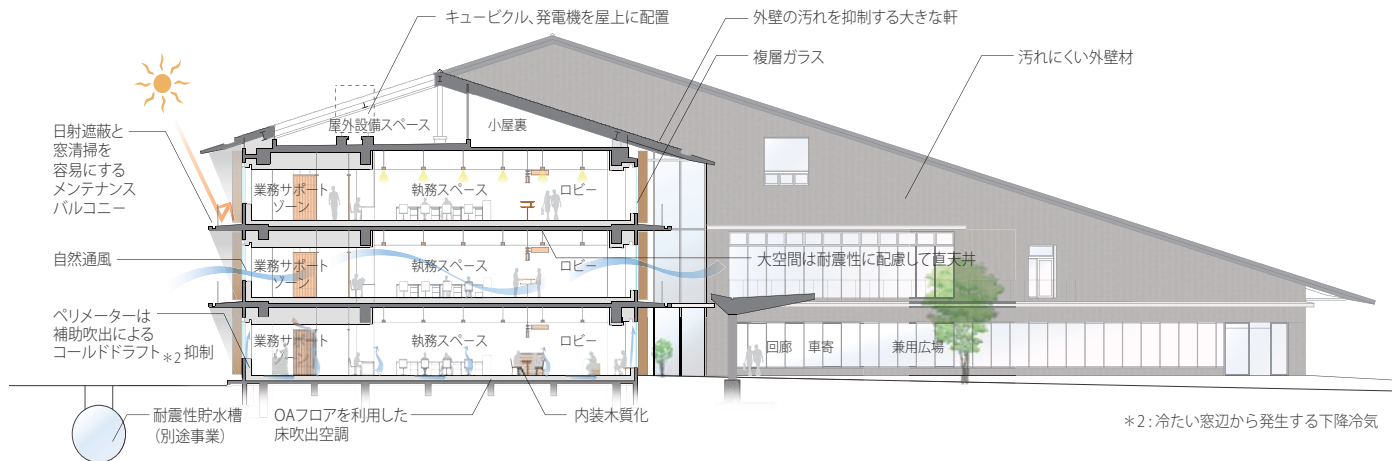
- ・文化プラザとの連携や駐車場がまとまって確保できる南側に新庁舎を配置します
- ・新庁舎と文化プラザは回廊で接続し、機能補完や相互利用しやすくします
- ・新庁舎の前面に来庁者駐車場を整備し、利便性・視認性を高めます
- ・新庁舎後方は、職員や公用車の駐車場及び文化プラザの搬入動線を確保します
- ・市民の利用頻度の高い窓口・部署は、1階に集約します
- ・窓口や執務スペースは、分かりやすさを徹底して見通しが効くレイアウトとします
- ・執務スペースは、将来のレイアウト変更に対応しやすいユニバーサルレイアウトを採用します
- ・議会ゾーンは、2階に配置し、議場・委員会室の多目的利用等により、市民にとって身近な存在となります
- ・3階は、執行部・災害対策室を中心とした構成とします



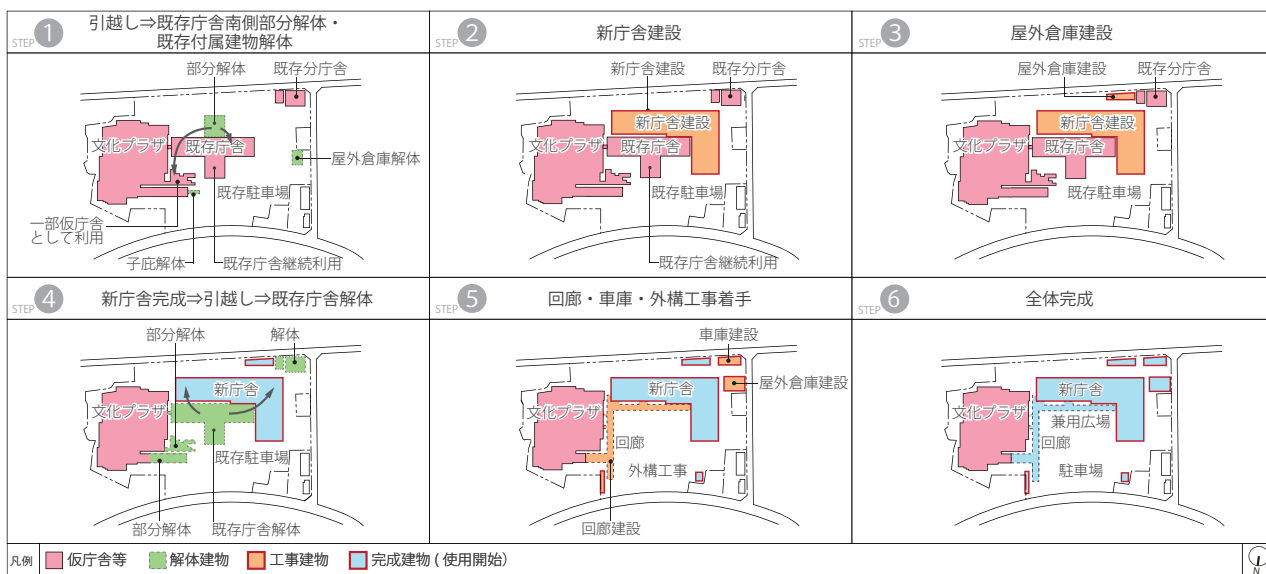
- 執務ゾーン
- 来庁者・職員利用ゾーン
- 議会ゾーン
- 倉庫・書庫ゾーン
- 設備ゾーン
- 階段・エレベーター
- 窓口カウンター
- 来庁者動線
- 職員動線

3 環境に配慮した庁舎とします

土岐市の気候特性を踏まえ、ライフサイクルを通じた環境負荷低減に配慮します



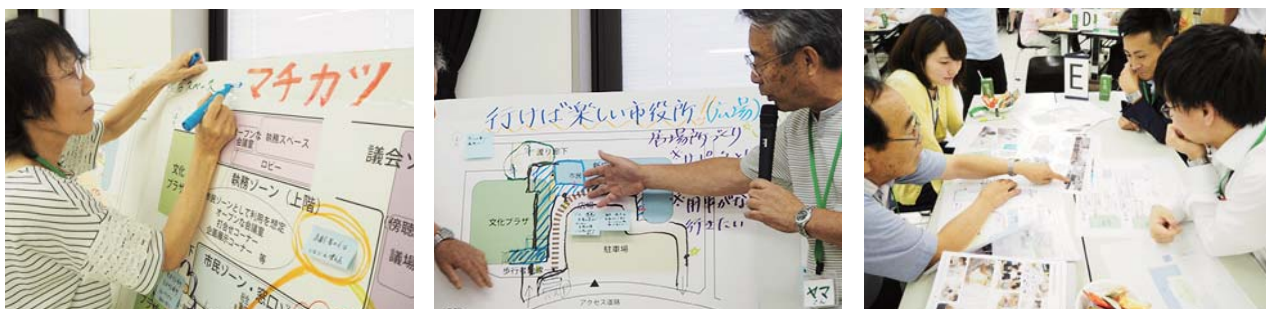
4 現庁舎の機能を維持しながら合理的に建替えます



平成 29 年度			平成 30 年度								平成 31 年度													
10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
STEP 1		STEP 2			STEP 3			STEP 4			STEP 5													
部分解体		新庁舎建設工事											☆開庁		☆全体完成									
部分解体		解体工事											回廊他工事											
		外構整備											外構整備											

平成 29 年 10 月から工事着手を行い、事業の完了は平成 31 年度を予定しています。
 工事期間中も現庁舎の機能は、維持しながら工事を行います。
 原則、仮設庁舎を設けなくて建替えができます。

5 これまで市民・職員の方々と一緒に考えてきました



【基本計画・基本設計時でのワークショップの様子】